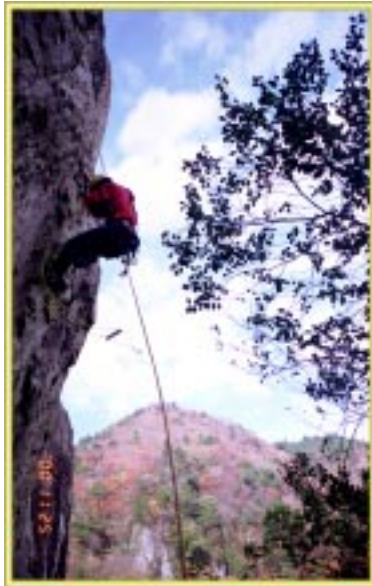


11/25 雪彦山三峰岳



・地蔵沢登り
地蔵沢正面ルート
のアプローチを探す
うちにルートを間違
ってしまい、とん
でもない沢を登る羽
目になって途中から
懸垂下降をしるしま
つであった。

・三峰岳正面ルート、
人工登攀ルート、中
央ルート

紅葉を背にハングを攀じる福迫

正面ルートは最初の取り付きが難しかった、以後登
れるがクイックドロワーが品切れのため懸垂下降。

人工登攀ルートでアブミの練習、福ちゃんはもう余裕で登っていた。

中央ルートはほぼ垂壁で困難であった、1ピッチから懸垂
下降。



アブミを駆使する私



「名も無き碑」の全容



シークリフ小赤壁

が難しい。



「イルカはおるか」のカンテを越える福迫



「播州レイバック」なんとか完登

11/26 シーサイドクリフ小赤壁

初チャレンジであったが、どれも非常に難しそう
である、グレードは5.9 ~ 5.11 b までである。

しかし、モンベルクラブが定期的に大会をやっている
せいもあり、ハンガーボルトが確実に打たれていて心強い。
また、マルチピッチと違い15 ~ 20 m ほどなのでスポーツ感
覚で楽しめてフリースタイルそのものである、また何よりバ
ックが海なので開放感120% である。

今回チャレンジしたのは、「よし行けた」、「イルカはおるか」、
「コケコケ」、「播州レイバック」の4ルートに挑んだ、この
岩を私は「名も無き碑」と名付けた。

私にとってはどれもリードでは難しく、特に「播州レイ
バック」は今のところではとてもリードでは登れないルート
である、難度は5.10 b (トップロープでなんとか登った)、
レイバックは非常にパワーを必要とするムーブである、特
に指先で体を支えるの